

## 学校統廃合に関する事務調査報告

知名町議会と知名町教育委員会は5月21日大和村を訪問して同村が行った学校統廃合に至った事務調査等を行いました。同村教育委員会教育長藤井俊郎先生や同委員会局長福山 茂氏より中学校統廃合に至った経緯説明、その後、調査団を代表して名間武忠総務文教常任委員長が質問書に沿った方式（事前に大和村教育委員会事務局に質問書を送付済）で質問を行うとともに、その他にも議員や教育委員より大和村教育委員会への質問が多数あり、回答を頂きました。質疑応答終了後、設置校の村立大和中学校（既存校舎を改修）や廃校の中学校（小学校へ譲渡）を視察しました。

大和村立中学校5校が1校に至った経過等は概ね次のとおりです。

大和村は平成23年4月1日、5中学校（大和中・大和中・戸円中・名音中・今里中）を廃止し、新たに大和村立大和中学校を設置した。学校統廃合に至る経過を見ると、平成15年3月定例議会において、初めて学校統合について質問してから8年の歳月である。教育委員会が教委事務局内に「学校規模見直し内部検討会」を設置し、動いたのは3年後の平成18年3月。その後は平成19年3月「学校統合審議会条例制定」・「学校統合検討推進本部規約制定」、同年10月「審議会から学校統合に関する意見書を村長へ提出」、同年11月「議会に学校統合に係る調査特別委員会設置」、翌年の平成20年1月には「村政懇談会開始～学校統合等に関する集落説明会」、平成21年2月「学校統合説明会～児童生徒及び未就学児の保護者対象」・「アンケートの実施」、同年4月「学校統合についての説明会～各集落対象」、同年6月「村議会において中学校統合に関する議案を可決」、同年8月「中学校統合準備検討委員会設置～①新設中学校の校名・校章・校歌・制服・校則等、②スクールバスの運行、③各中学校の閉校式・開校式等々、統合へ向けての準備を着々と進行。そして、平成23年2月「各中学校閉校式」、同年4月「大和中学校開校」と、次から次へと諸課題を乗り越えて中学校の統廃合を結実させています。

設置及び廃止の理由として、「①人口の流出・過疎化、少子化の進展などにより児童・生徒数は減少の一途をたどっている。②学校施設の耐震性及び老朽化等の問題も抱えており、厳しい財政状況を考慮した。③統合することにより効率的な学校運営に配慮した。④一定規模の生徒数確保による学習環境の向上や集団的思考、社会性の醸成を図ることで教育水準の向上を目指す。」を挙げている。大和村が取り組んだことは本町においても少子化が進展し、児童・生徒数の減少が顕著である。調査団一行も説明や意見交換、現場視察等々に真剣に取り組んでいました。



7. 土地改良事業における地方公共団体の起債枠の見直しについて
  6. 島農業高等学校跡地に大島養護学校分校設置を求めることについて
  5. 鹿兒島県立徳之校整備について
  4. TPP交渉におけるサトウキビ、畜産等の例外品目扱いについて
  3. 主要地方道名瀬瀬戸内線の道路改良事業について
  2. 離島航路への福祉車両の配備及び船舶両舷へのエスカレーター又はエレベーターの設置に対する助成制度について
  1. 防災・減災対策について
- 《採択された7議題》

5月22日第57回奄美群島市町村議会議員大会が宇検村で開催され、12市町村の議会議員や市町村長が出席。各地区から提出された次の7議題が採択されました。

奄美群島市長村議会議員大会（宇検村）

